

ウィザス

Topics

未来世代ですすむ男女共同参画

No.121



芦屋市男女共同参画センター通信
2026年 春号

With us
“共に生きるー男女共生社会ー”の
理念を表しています。



芦屋市立山手中学校
生徒会のみなさん

未来世代ですすむ男女共同参画

自己を形成していく過程である中学校における日常生活では、生徒会活動、制服、進路選択など、あらゆる場面で、様々な選択肢、価値観を尊重し、多様性を育む機会が散りばめられています。

そして、固定的な性別役割分担意識や、性差に関するアンコンシャス・バイアス（無意識の偏見や思い込み）を無くし、誰もが、性別にかかわらず、その個性と能力を発揮し、しあわせを分かち合う「男女共同参画社会」を創り上げていく、その第一線に立っているのが未来世代です。

今回は、そんな未来を担う中学生の学校生活や等身大の声を知るために、芦屋市立山手中学校の生徒会の皆さんにインタビューを行いました。

CONTENTS

- 01 ■ 未来世代ですすむ男女共同参画
- 02 ■ 芦屋市立山手中学校の生徒会のみなさんにインタビュー
- 03 ■ 講座レポート・講座等のご案内
- 04 ■ お知らせ ■ 女性相談のご案内等



未来世代ですすむ男女共同参画

響き合う個性に磨かれ、育まれる多様な価値観

学校内のあらゆる場面で男女がともに活躍している環境は、生徒たちに「性別による役割分担意識」を感じさせない、自然な空気感をもたらしています。

特定の属性に偏りがなく、多様な視点が当たり前前に混ざり合い、それが、生徒一人ひとりが自分の得意分野を伸ばし、性別の枠に捉われずに将来を描くことができる安心感となっているようです。



Q&A



Q 初めて女性の首相が誕生したことについてどう思う？

A 期待はしていますが、女性だから期待しているわけではありません。首相が男性でなければならない理由はないため、女性でも首相になれるということがわかれば、女性が以前よりもいろいろな職業を選択できるようになると思います。



Q 今後どんな社会になってほしいですか？

A リーダーなど表で活躍する人が男女均等になり、男性も女性も自由に意見を言うことができ、全体として男性の意見も女性の意見も反映されるような状態を作っていくことが重要だと思います。



体調や天候に寄り添い 広がる制服の選択肢

山手中学校では、生徒一人ひとりの体調や好みにより寄り添う制服を導入しています。暑さや寒さ、体調の変化に合わせて、スカートとスラックス、長袖と半袖などを組み合わせることが可能です。

靴下は白・黒・紺・グレーから選べ、体育に適した靴であれば、指定靴もありません。こうした細やかな配慮が、生徒たちの学校生活をより快適で、自分らしく過ごせるものになっています。



多様な意見があるからこそ進む 生徒会活動

生徒会活動を行うなかで、服装や髪型などの校則改定について話し合う際、「どちらか一方の集団だけでは考えられないことでも、男性、女性、髪の長い人、短い人、様々な立場の人がいて、要望に共感できる人がいるからこそ話し合いがすすむ」という意見が聞かれました。

意思決定の場に様々な立場からの意見があることで、多様な意見が混ざり合い、活発な生徒会活動が行われています。



「やりたい」や「好き」を追求する 進路選択

将来の夢や好きな教科について話を聞くと、「人に教えることが好きだから教師になりたい」「機械を分解することが好きだからエンジニアやプログラマーになりたい」「詩歌を詠む事が好きだから国語が得意」といった声がありました。

そこに「男だから女だから」といった価値観はなく、純粋に「興味を持った分野がたまたま理系だっただけ」と語るほど、性別に関係なく自分の将来に忠実に向き合うことができています。